

日本BS放送株式会社

2026年8月期 第1四半期

(決算補足説明資料)

2026年1月8日



証券コード: 9414

I	決算概況	P2
II	重点実施事項トピックス	P10
III	通期計画	P16
IV	(ご参考)会社概要	P20

I 決算概況



2026年8月期 第1四半期(連結)

売上高 **2,879百万円** (前年同期比 0.5%減↓)

営業利益 **388百万円** (前年同期比 28.7%減↓)

2026年8月期 第1四半期(個別)

売上高 **2,735百万円** (前年同期比 0.6%減↓)

営業利益 **433百万円** (前年同期比 26.7%減↓)

売上高は**2,879**百万円（前年同期比0.5%減）、営業利益は**388**百万円（前年同期比28.7%減）、
親会社株主に帰属する四半期純利益は**260**百万円（前年同期比28.6%減）

（単位：百万円、下段は売上比）

	2025年8月期 第1四半期累計	2026年8月期第1四半期累計			
		実績	前年同期比	増減額	主な変動要因
売上高	2,892 (100.0%)	2,879 (100.0%)	△0.5%	△13	
売上総利益	1,471 (50.9%)	1,293 (44.9%)	△12.1%	△177	(売上高) ・放送事業収入… △60百万円 ・その他収入… +43百万円 ・その他収入(子会社)… +4百万円
営業利益	545 (18.8%)	388 (13.5%)	△28.7%	△156	(売上原価) ・番組購入費… △37百万円 ・番組制作費… +208百万円 ・減価償却費… △21百万円
経常利益	549 (19.0%)	397 (13.8%)	△27.6%	△151	
親会社株主に帰属 する四半期純利益	365 (12.6%)	260 (9.1%)	△28.6%	△104	

貸借対照表の概要（連結）

（単位：百万円、下段は構成比）

		2025年8月期末	2026年8月期第1四半期末	
			第1四半期	前年増減額
資産	流動資産	17,223 (64.0%)	16,925 (63.7%)	△297
	固定資産	9,675 (36.0%)	9,644 (36.3%)	△30
資産合計		26,898 (100.0%)	26,570 (100.0%)	△328
負債	流動負債	2,342 (8.7%)	2,285 (8.7%)	△57
	固定負債	129 (0.5%)	132 (0.5%)	2
負債合計		2,472 (9.2%)	2,417 (9.2%)	△54
純資産合計		24,426 (90.8%)	24,152 (90.8%)	△273
負債・純資産合計		26,898 (100.0%)	26,570 (100.0%)	△328

売上高は**2,735**百万円（前年同期比0.6%減）、営業利益は**433**百万円（前年同期比26.7%減）、
四半期純利益は**305**百万円（前年同期比25.7%減）

（単位：百万円、下段は売上比）

	2025年8月期 第1四半期累計	2026年8月期第1四半期累計			
		実績	前年同期比	増減額	主な増減要因
売上高	2,753 (100.0%)	2,735 (100.0%)	△0.6%	△17	・タイム収入の減少 … △53百万円 ・スポット収入の減少 … △7百万円 ・その他収入の増加 … +43百万円
売上総利益	1,414 (51.4%)	1,230 (45.0%)	△13.0%	△183	
営業利益	591 (21.5%)	433 (15.8%)	△26.7%	△158	(段階利益) 売上原価の増加
経常利益	595 (21.6%)	442 (16.2%)	△25.6%	△152	《利益減少の具体的要因》 ・放送事業収入の最大化及びその他事業収入の 拡大に向けたコンテンツへの投資推進
四半期純利益	411 (15.0%)	305 (11.2%)	△25.7%	△105	

	2025年8月期 第1四半期累計	2026年8月期第1四半期累計		
		実績	前年同期比	増減額
売上高	2,753 (100.0%)	2,735 (100.0%)	△0.6%	△17
タイム収入	2,031 (73.8%)	1,978 (72.3%)	△2.6%	△53
スポット収入	541 (19.7%)	534 (19.5%)	△1.3%	△7
その他	180 (6.5%)	223 (8.2%)	24.0%	43

主な増減要因(前年対比)

- **タイム収入**
番組スポンサーへのセールスや公営競技のセールスが好調だったものの、ショッピングカテゴリーの減少により、前年同期比△2.6%
- **スポット収入**
コンテンツの充実と番組編成の工夫が奏功し、純広スポットは好調に推移したが、通販スポットの市況の影響をカバーできず、前年同期比△1.3%
- **その他**
オリジナル配信プラットフォーム「BS11+」やTVer等における配信事業収入が好調に推移したことにより、前年同期比+24.0%

主要費用項目実績（個別）

	2025年8月期 第1四半期累計	2026年8月期第1四半期累計			
		実績	前年同期比	増減額	主要な増減要因
番組関連費用(原価)	786 (28.6%)	957 (35.0%)	21.7%	171	
番組購入費	99 (3.6%)	61 (2.3%)	△38.0%	△37	・ドラマコンテンツの編成戦略の一環として 行った調達コンテンツの見直しによる費用減
番組制作費	687 (25.0%)	896 (32.7%)	30.3%	208	・既存コンテンツの強化及び新規コンテンツの開発 ・IPを起点としたコンテンツの運用・開発 ・良質なアニメコンテンツの確保
放送関連費用(原価)	138 (5.0%)	134 (4.9%)	△2.9%	△3	
放送委託費	121 (4.4%)	118 (4.3%)	△2.8%	△3	
技術費	16 (0.6%)	15 (0.6%)	△3.6%	△0	
広告関連費用(販管費)	170 (6.2%)	170 (6.2%)	△0.3%	△0	
広告宣伝費	157 (5.7%)	157 (5.7%)	△0.3%	△0	
販売促進費	13 (0.5%)	13 (0.5%)	-%	-	

貸借対照表の概要（個別）

		2025年8月期末	2026年8月期第1四半期末		
			第1四半期	前年増減額	主な増減要因
流動資産		16,725 (63.3%)	16,443 (63.0%)	△282	・現金及び現金同等物の減少 △250百万円
	固定資産	9,681 (36.7%)	9,651 (37.0%)	△30	・機械装置減価償却累計額の増加 △58百万円
資産合計		26,407 (100.0%)	26,094 (100.0%)	△313	
流動負債		1,912 (7.2%)	1,824 (7.0%)	△88	・買掛金の増加 +69百万円 ・未払法人税等の減少 △165百万円
	固定負債	128 (0.5%)	131 (0.5%)	3	
負債合計		2,040 (7.7%)	1,956 (7.5%)	△84	
純資産合計		24,366 (92.3%)	24,138 (92.5%)	△228	
負債・純資産合計		26,407 (100.0%)	26,094 (100.0%)	△313	

Ⅱ 重点実施事項トピックス



Value

I. 放送事業収入の最大化

タイムテーブルの戦略的強化、視聴者ニーズの分析徹底

Value

II. 独自IPコンテンツの開発加速

IPの積極活用による多面的な事業展開、コラボレーション施策の推進

Value

III. アニメビジネスの収益基盤拡充

良質なアニメコンテンツの確保、新規事業の推進

Value

IV. 企業価値向上のための戦略的投資

新たな領域への投資機会の追求、持続的成長を実現する環境構築

Value

I. 放送事業収入の最大化、II. 独自IPコンテンツの開発加速

➤ 既存コンテンツの内容強化



➤ 新規コンテンツの開発促進



新コンセプト 100年先の誰かのために

新キャスターに近野宏明さんを迎え、番組コンセプトやスタジオセットを一新。

➤ ドラマコンテンツの強化・拡充

人気の韓国ドラマ・中国時代劇に加え、国内サスペンス等も放送

➤ スポーツコンテンツ拡充



『2025年度 講道館杯全日本柔道 体重別選手権大会』

高校・大学・社会人各年代のトップ選手が
出場し、体重別個人で最強を争う熱い戦いを
千葉ポートアリーナからディレイ中継で
お届け。



中国時代劇・中国ドラマ



韓国ドラマ



名作時代劇



国内サスペンス



『ALSOK presents 2025年度 全日本学生柔道体重別選手権大会』

Value

I. 放送事業収入の最大化、II. 独自IPコンテンツの開発加速、III. アニメビジネスの収益基盤拡充

> 公営競技への注力

ダート競馬の注目レースに加え、高知競馬や競輪関連番組も放送



> コラボレーション施策の推進



『生中継! 花火甲子園2025 ~愛知で唯一の花火競技大会~』

テレビ愛知(株)と共同で、全国各地の有名煙火店20社が競い合う注目の花火大会「第5回 花火甲子園」の様態を生中継。

> 良質なアニメコンテンツの確保

約40タイトルのアニメ関連番組を放送



©2025 さいと一栄/KADOKAWA/「終末ツェリング」製作委員会



©風ナナ・アルファボリス/最ひと製作委員会



©裕夢/小学館/ラムネ製作委員会

> コンテンツの開発推進

追悼 人間国宝 井上萬二先生 ~有田焼「白磁」と共に生きた軌跡~

『追悼 人間国宝 井上萬二先生 ~有田焼「白磁」と共に生きた軌跡~』

白磁の匠、2025年7月に逝去された人間国宝・井上萬二先生の追悼番組を放送。



> 新規事業の推進



(株)壽屋と協業し、オンラインくじサービス「コトブキヤクジ」にて、新企画「BS11 x KOTOBUKIYA コトブキヤクジ」を始動。



「北九州ポップカルチャーフェスティバル2025」

北九州観光大使も務める、総合エンタメ情報番組『アニメ☆イレブン!』のMC前田佳織里さんによるトークステージを実施。

Value

I. 放送事業収入の最大化、II. 独自IPコンテンツの開発加速

➤ 多角的な事業展開が期待できるIPコンテンツの開発・コラボレーション施策の推進

NEW

BS11×理論社・国土社「珠玉のドラマ」シリーズ
第1弾 BS11×国土社

雨上がりの スカイツリー

制作著作：BS11/東京コンテンツラボ
©雨上がりのスカイツリー制作委員会



BS11×理論社・国土社「珠玉のドラマ」シリーズの第1弾コンテンツとして、人気作家高森千穂さんによる国土社刊行の書籍「雨上がりのスカイツリー」をドラマ化。キャストには、俳優の上地雄輔さん、美山加恋さん、大井怜緒さんを迎え、オリジナル配信プラットフォーム「BS11+」等の各配信サイトでの配信及びBS11での放送を予定。

➤ 既存コンテンツの内容強化

年末年始の拡大版 特別編成によりコンテンツ価値向上へ



➤ 日中帯ドラマコンテンツの強化

名作時代劇



©ABCTV/松竹

韓国ドラマ



©STUDIO DRAGON CORPORATION

中国時代劇・中国ドラマ



©2020 Shanghai Ruiyi Production Company & Rosat media & entertainment corporation

➤ コラボレーション施策の推進



制作著作：KBS京都/BS11

『京都紅葉生中継2025 心とレンズに刻む絶景』

世界遺産 仁和寺に特別放送席を設け、京都の紅葉の絶景をお届け。(株)京都放送の共同制作番組。

Value

Ⅱ. 独自IPコンテンツの開発加速、Ⅲ. アニメビジネスの収益基盤拡充

➤ 良質なアニメコンテンツの確保

約40タイトルのアニメ関連番組を放送



©常磐くら・ドリコム/エリスの聖杯製作委員会



© 成田良悟・TYPE-MOON/KADOKAWA/FSFPC



©SUNRISE



©2026 八月八・大橋キッカ/KADOKAWA/「異世界の沙汰は社畜次第」製作委員会

➤ 新規事業の推進

アニメ関連番組の派生イベント開催



「Anison Days Festival 2026」

アニメソング番組『Anison Days』に出演中の森口博子さん、酒井ミキオさん等、豪華アーティストによる音楽イベント。今回は、約2年ぶり6回目の開催。

アニメ領域における
独自コンテンツの拡充



© Animelo Summer Live 2025

『アニメロサマーライブ2025

“ThanXX!” powered by Anison Days』

世界最大のアニソンライブイベント
「アニメロサマーライブ」の様態を
テレビ独占放送。

➤ IPの積極活用による多面的な事業展開

配信事業の取り組み



『おおしましゅんの今がしゅんです』

「BS11+プレミアム」の第2弾コンテンツ。人気インフルエンサーのおおしましゅんさんが気になるテーマを体験&検証しながらトレンドを深掘りしていくバラエティ番組。

コンテンツ価値の最大化に向けたイベント事業推進



太田和彦さんと、日本酒を通して世界各国との外交を推進した“酒サムライ”門司健二郎さんによるトークイベントを開催。



「BS11+プレミアム」コンテンツ『石見舞楽香と長谷川育美のふたりば』の第2回番組イベントを実施。

Ⅲ 通期計画



売上高は12,576百万円(前期比6.5%増)、営業利益は1,804百万円(前期比6.6%減)、
親会社株主に帰属する当期純利益は1,306百万円(前期比2.9%減)を計画

(単位:百万円、下段は売上比)

	2025年8月期		2026年8月期				
	第2四半期 累計	通期	第2四半期累計		通期計画		
			計画	前期比	計画	前期比	増減額
売上高	5,889 (100.0%)	11,812 (100.0%)	6,079 (100.0%)	3.2%	12,576 (100.0%)	6.5%	763
営業利益	1,159 (19.7%)	1,932 (16.4%)	830 (13.7%)	△28.4%	1,804 (14.3%)	△6.6%	△128
経常利益	1,174 (19.9%)	1,985 (16.8%)	858 (14.1%)	△26.9%	1,888 (15.0%)	△4.9%	△97
親会社株主に帰属 する当期純利益	801 (13.6%)	1,345 (11.4%)	576 (9.5%)	△28.2%	1,306 (10.4%)	△2.9%	△39

売上高は11,800百万円(前期比6.9%増)、営業利益は1,800百万円(前期比9.5%減)、
当期純利益は1,305百万円を計画(前期比7.7%減)

(単位:百万円、下段は売上比)

	2025年8月期		2026年8月期				
	第2四半期 累計	通期	第2四半期累計		通期計画		
			計画	前期比	計画	前期比	増減額
売上高	5,534 (100.0%)	11,039 (100.0%)	5,751 (100.0%)	3.9%	11,800 (100.0%)	6.9%	760
タイム収入	4,010 (72.5%)	8,155 (73.9%)	4,091 (71.2%)	2.0%	8,358 (70.9%)	2.5%	203
スポット収入	1,109 (20.1%)	2,038 (18.5%)	1,139 (19.8%)	2.6%	2,186 (18.5%)	7.3%	148
その他	413 (7.5%)	845 (7.6%)	520 (9.0%)	25.8%	1,254 (10.6%)	48.3%	408
営業利益	1,192 (21.6%)	1,988 (18.0%)	888 (15.5%)	△25.5%	1,800 (15.3%)	△9.5%	△188
経常利益	1,208 (21.8%)	2,043 (18.5%)	914 (15.9%)	△24.3%	1,886 (16.0%)	△7.7%	△157
当期純利益	836 (15.1%)	1,413 (12.8%)	632 (11.0%)	△24.3%	1,305 (11.1%)	△7.7%	△108

2026年8月期は、期末配当金 30.0円を計画

配当方針について

- ・ 企業価値の向上や持続的な発展に向け成長を確保する一方で、株主等ステークホルダーの期待に応えられるよう、経営資源の適切な配分を行い、配当性向40%程度を基準として、株主還元の拡充を図っていく方針です。
- ・ 年1回の期末配当を行うことを基本とします。

年間配当金

※1株当たり当期純利益の数値は連結で表示しております。

	2019年 8月期	2020年 8月期	2021年 8月期	2022年 8月期	2023年 8月期	2024年 8月期	2025年 8月期	2026年 8月期 (予想)
年間配当	20.0 円	20.0円	20.0円	20.0円	26.0円	30.0円	30.0円	30.0円
1株当たり当期純利益	65.08 円	83.72円	104.83円	89.84円	77.85円	81.70円	75.51円	73.30円
配当性向	30.7%	23.9%	19.1%	22.3%	33.4%	36.7%	39.7%	40.9%

IV (ご参考)会社概要



会社概要

本社	東京都千代田区神田駿河台二丁目5番地
事業内容	全国無料のBSハイビジョン放送“BS11”チャンネルの運営
代表者	代表取締役会長 齋藤 知久 代表取締役社長 玉井 忠幸
設立	1999年8月
資本金	41億9,071万円（2025年8月31日現在）
従業員数	128名（連結）（2025年8月31日現在）

沿革

1999年8月	株式会社ビックカメラにより、衛星放送の番組及び普及に関する調査研究を目的として設立
2000年12月	BSデジタルデータ放送開始
2004年9月	東経110度CSデジタル放送開始
2007年12月	BSデジタルハイビジョン放送（BS11）開始
2010年 4月	一般社団法人日本民間放送連盟に入会
2010年11月	株式会社ジュピターテレコム（J:COM）において再送信開始
2011年10月	接触率調査（BSパワー調査）に参加
2014年3月	東京証券取引所市場第2部へ上場
2015年3月	東京証券取引所市場第1部へ上場
2018年1月	理論社・国土社の株式を100%取得し完全子会社化
2022年4月	東京証券取引所市場再編により、スタンダード市場へ移行

コーポレートガバナンスの基本的な考え方

当社は、国民共有の希少資源である電波を預かる放送事業者として公共的使命と社会的責任の重要性を深く認識しています。

「質の高い情報を提供することで人々に感動を与え幸せな社会づくりに貢献します」という経営理念のもと、企業の持続的な成長

と中長期的な企業価値向上を図るため、実効性のあるコーポレートガバナンスを実現してまいります。

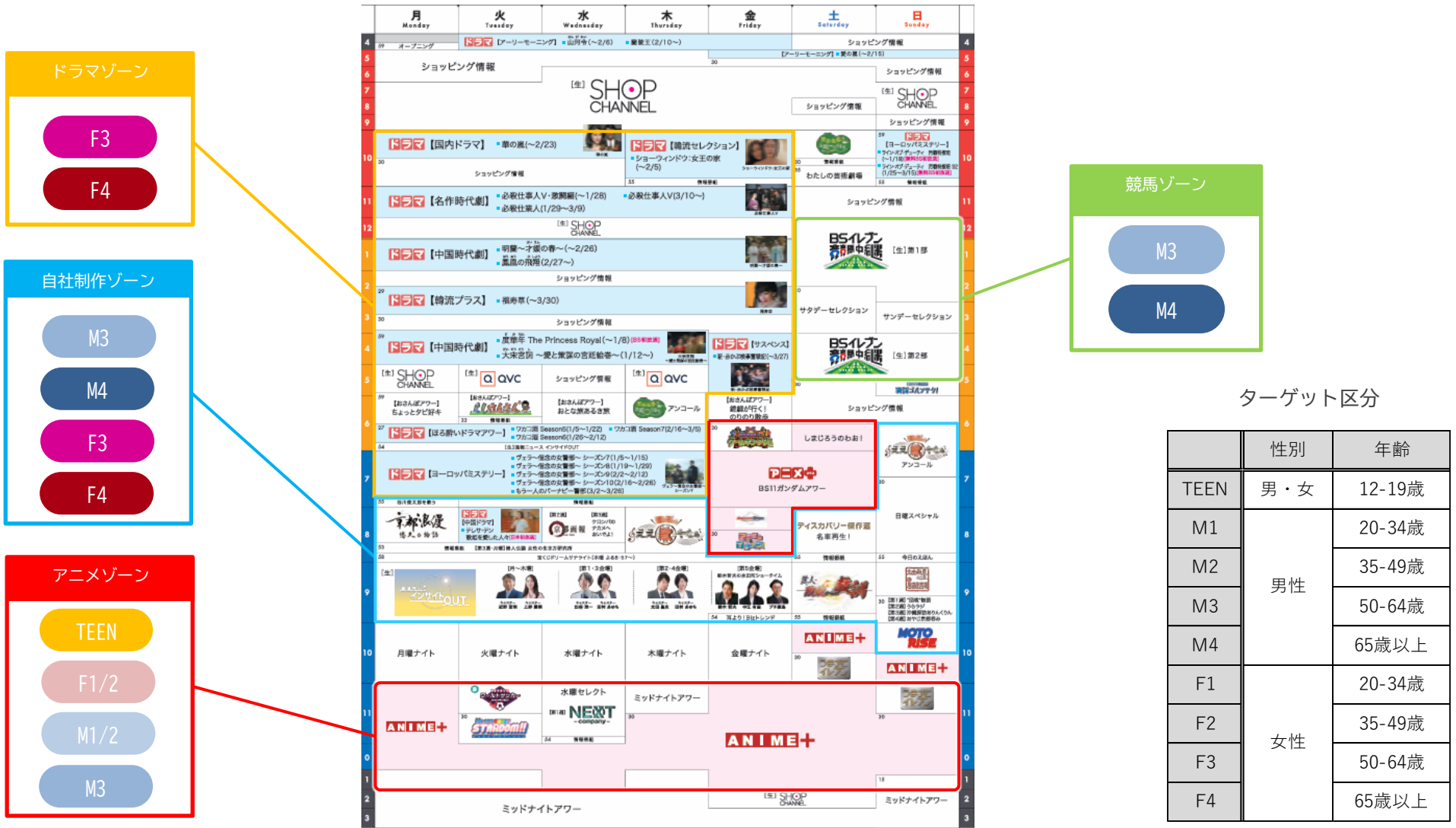
全国無料BS放送局

グループ会社	日本テレビ	テレビ朝日	TBS	テレビ東京	フジテレビ	ジャパネット	ビックカメラ	三井物産	JCOM	吉本興業	放送大学
放送局	BS日テレ	BS朝日	BS-TBS	BSテレ東	BSフジ	BS10	BS11	BS12	JCOM:BS	BSよしもと	BSキャンパスex BSキャンパスon
系列	地上波系列					独立系					公共
開局年月	2000年12月					2025年1月	2007年12月		2025年7月	2022年3月	2011年11月
グループ	当社及び地上波系列BS5局の計6局は、“無料BS放送6局”として視聴状況調査を実施（～2020年3月）、共同で『メディアガイド』を作成するなどBS放送の価値向上に向けた取り組みを実施。										

BS11の特徴

- ①家電量販店ビックカメラを親会社に持つため、番組・CMの放送等に加えて、消費者へのダイレクトなコンタクトポイントが持てる企画が可能！
- ②独立系だからこそ自由なコンテンツ制作・展開が可能！
- ③『ドラマ』・『アニメ』・『競馬』など多岐にわたるラインアップ編成により、幅広い年齢層の視聴者層が存在！

BS11では曜日・時間帯ごとで視聴者ニーズに応える編成を実施
 そのため、他民放BS局と比較しても**幅広い年齢層の視聴者**が存在する



競馬ゾーン

M3

M4

ターゲット区分

	性別	年齢
TEEN	男・女	12-19歳
M1	男性	20-34歳
M2		35-49歳
M3		50-64歳
M4		65歳以上
F1	女性	20-34歳
F2		35-49歳
F3		50-64歳
F4		65歳以上

(2026年1月クール編成表)

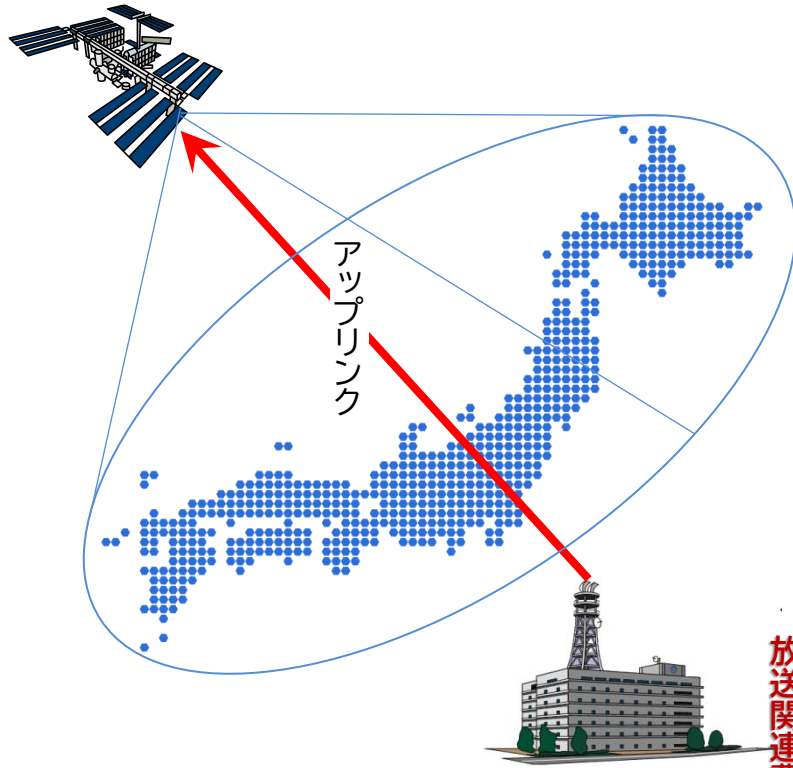
【地上波とは全く異なるコスト構造により高効率の広告ビジネスを実現】

◆地上波に比べ低コストでの放送 ⇒ 効率的な広告費で日本全国に放送可能

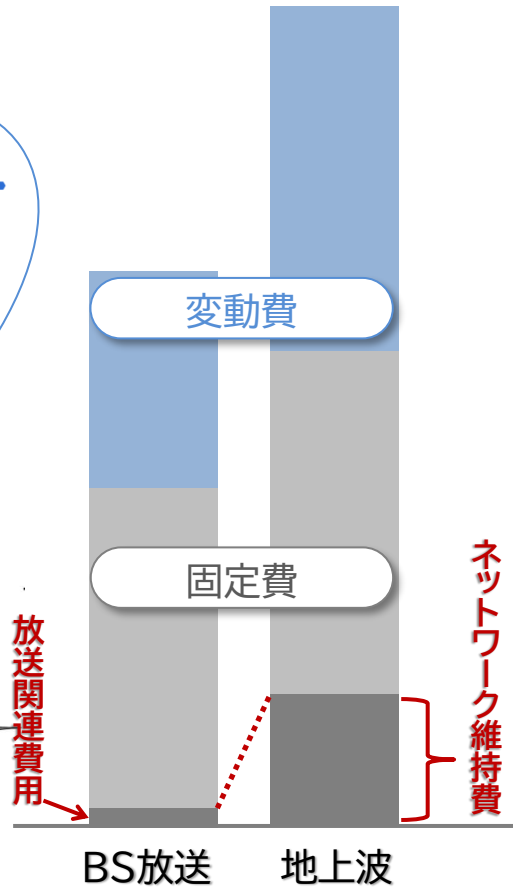
無料BS放送

コスト構造の比較

キー局系列の地上波放送



- ・日本全国に電波の送信が可能
- ・ネットワークの構築が不要



- ・少数チャンネル地域の存在
- ・嵩むネットワーク維持費

- ❑ 本資料は日本BS放送株式会社(以下、当社)の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
- ❑ 本資料には当社の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。
- ❑ また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】

日本BS放送株式会社

経営企画局 経営企画部

TEL 03-3518-1900

URL <https://www.bs11.jp/>

